

水産物の市況について(令和8年2月及び令和8年3月)

—東京都中央卸売市場における令和8年2月(令和8年1月21日～令和8年2月20日集計)の市況と、
令和8年3月の市況見通し(前月との比較)—

I 令和8年2月の全体の市況

東京都中央卸売市場における総入荷量(水産物の生鮮品、冷凍品及び加工品の合計)は、前月から横ばいで推移し、前年同月比でも横ばいで推移しました。卸売価格(水産物全体の1キログラム当たり平均価格)は、前月から弱含みで推移し、前年同月比ではやや強含みで推移しました。

凡例(目安)

増減率	入荷量	卸売価格
0～2%	横ばい	横ばい
3～10	やや増加(減少)	やや強(弱)含み
11～20	増加(減少)	強(弱)含み
21～50	かなり増加(減少)	かなり強(弱)含み
51～	大幅に増加(減少)	—

II 令和8年3月の主要品目の市況見通し

「まいわし(生鮮品)」

例年この時期に水揚げの主力となる三陸～常磐沖で低調に推移していることから、東京への入荷量はやや減少し、卸売価格は横ばいで推移すると見込まれます。

「さけ類(塩蔵品・冷凍品)」

東京への入荷量はチリ産銀ざけ主体に横ばい、さけ類全般が高値で推移していることから、卸売価格は高値・横ばいで推移すると見込まれます。

「さば(生鮮品)」

今後、東シナ海を中心にさば類の漁獲が続くものの、山陰沖はまいわし主体で、さば類の漁獲は徐々に減少するとみられ、東京への入荷量はやや減少し、卸売価格は横ばいで推移すると見込まれます。

「するめいか(生鮮品・冷凍品)」

全国的に産地の水揚量が低調な状態が続くとみられ、生鮮物の東京への入荷量は横ばい、卸売価格はやや強含みで推移すると見込まれます。
冷凍物は、入荷量は横ばい、卸売価格は高値・横ばいで推移すると見込まれます。

「あじ(生鮮品)」

今後も九州を中心に水揚げは続くものの、さば類主体に漁獲されると予想され、東京への入荷量は横ばい、卸売価格も横ばいで推移すると見込まれます。

「まぐろ(冷凍品)」

東京への入荷量は全体では横ばい、卸売価格は高値・横ばいで推移すると見込まれます。

注:東京への入荷量及び卸売価格の推移は、前月との比較。なお、「高値/安値」については過去5年の平均水揚量及び平均卸売価格と比較。

東京都中央卸売市場への総入荷量・卸売平均価格(概数)

(単位:千トン、円/kg)

	2月		前月		前々月	
	入荷量	価格	入荷量	価格	入荷量	価格
8年	24	1,722	24	2,002	28	1,793
前年	25	1,611	26	1,874	29	1,700

注1: 入荷量及び卸売価格は、それぞれ前月の21日から当月の20日までの暫定数値。

注2: 入荷量は生鮮品、冷凍品及び加工品の合計。

主要品目の価格

(単位:円/kg、%)

	東京都中央卸売市場卸売価格(概数)			
	2月	前月対比	前年同月対比	平年同月対比
まいわし(生鮮品)	368	70	86	92
さけ類(平均)	1,310	93	89	118
(ぎんざけ塩蔵品)	1,356	98	96	120
(あきさけ塩蔵品)	1,134	93	93	152
(べにざけ塩蔵品)	1,787	107	82	112
(さけ類冷凍品)	1,276	91	88	117
さば(生鮮品)	695	85	105	144
するめいか(平均)	1,554	99	94	164
(生鮮品)	1,497	100	94	146
(冷凍品)	1,674	100	98	136
あじ(生鮮品)	619	75	79	92
まぐろ(冷凍品)	2,227	101	146	137
(めばち冷凍品)	1,660	106	150	142
(きはだ冷凍品)	1,668	100	179	142
(くろまぐろ冷凍品)	4,034	102	118	120
(みなみまぐろ冷凍品)	2,103	95	106	104

注1: 品目により、市場で水産物の大きさ等が異なることから、主要な水産物の価格データを掲載。

注2: 2月の価格は1~20日までの速報値を元に算出。平年とは令和3年~令和7年の加重平均値。

注3: さけ類冷凍品は、主として、ぎんざけ、あきさけ、べにざけ及びアトランティックサーモンが含まれる。

注4: まぐろ(冷凍品)は、めばち、きはだ、くろまぐろ及びみなみまぐろが含まれる。

問合せ先: 水産庁加工流通課企画調査班

代表 03-3502-8111

内線 6618 中島、山崎

直通 03-3591-5613